



新型コロナウイルス影響調査 アンケート結果分析 団体データ

JICA PARTNER

2020年9月



【PARTNER】新型コロナウイルス影響調査 結果

【実施期間】 2020年7月21日～8月2日

【回答数】 89

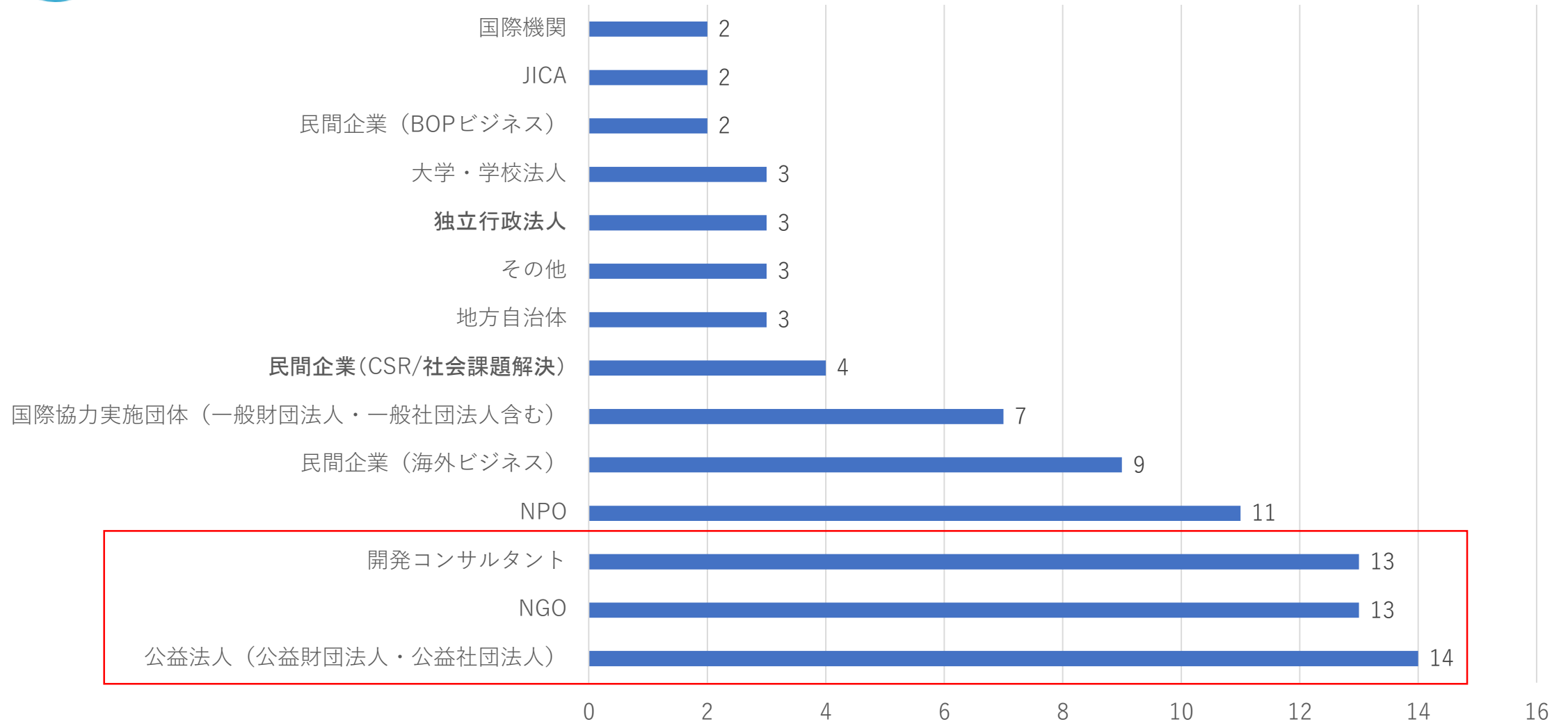
↳団体登録約1,970 全体の約4%が回答

【総括】

- 社員の働き方の変化：「場所にとらわれない働き方導入」67%
- 求人動向：「未定」56%、「例年通り」26%、「増やす」9%
- 欲しい人材：「未経験でも若い人材」 / 「長く働ける正社員」 / 「業務委託・スポットで働ける人材」
- PARTNER人材閲覧機能を利用したことがある団体：29%

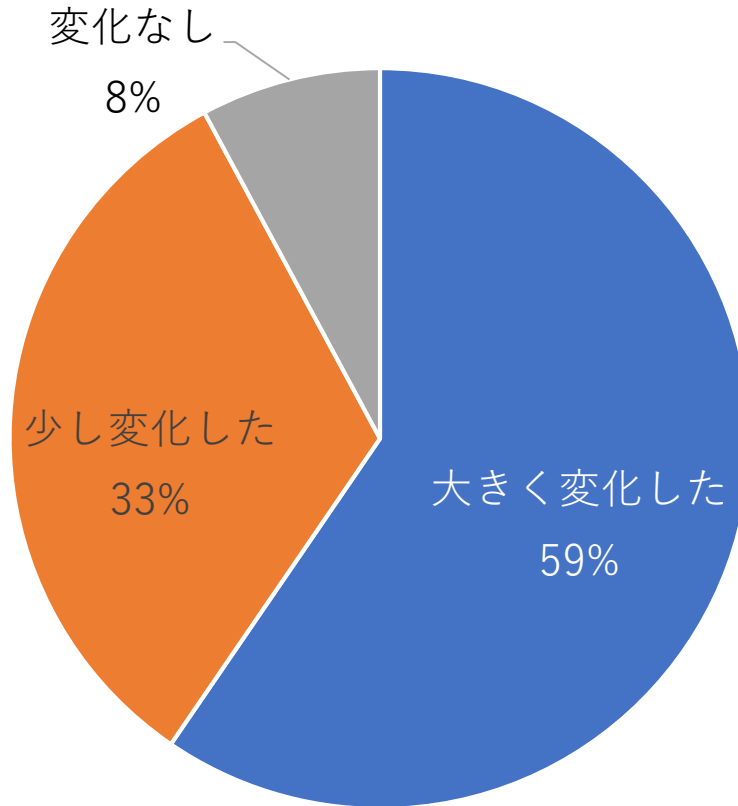


Q1 回答者所属（団体種別）





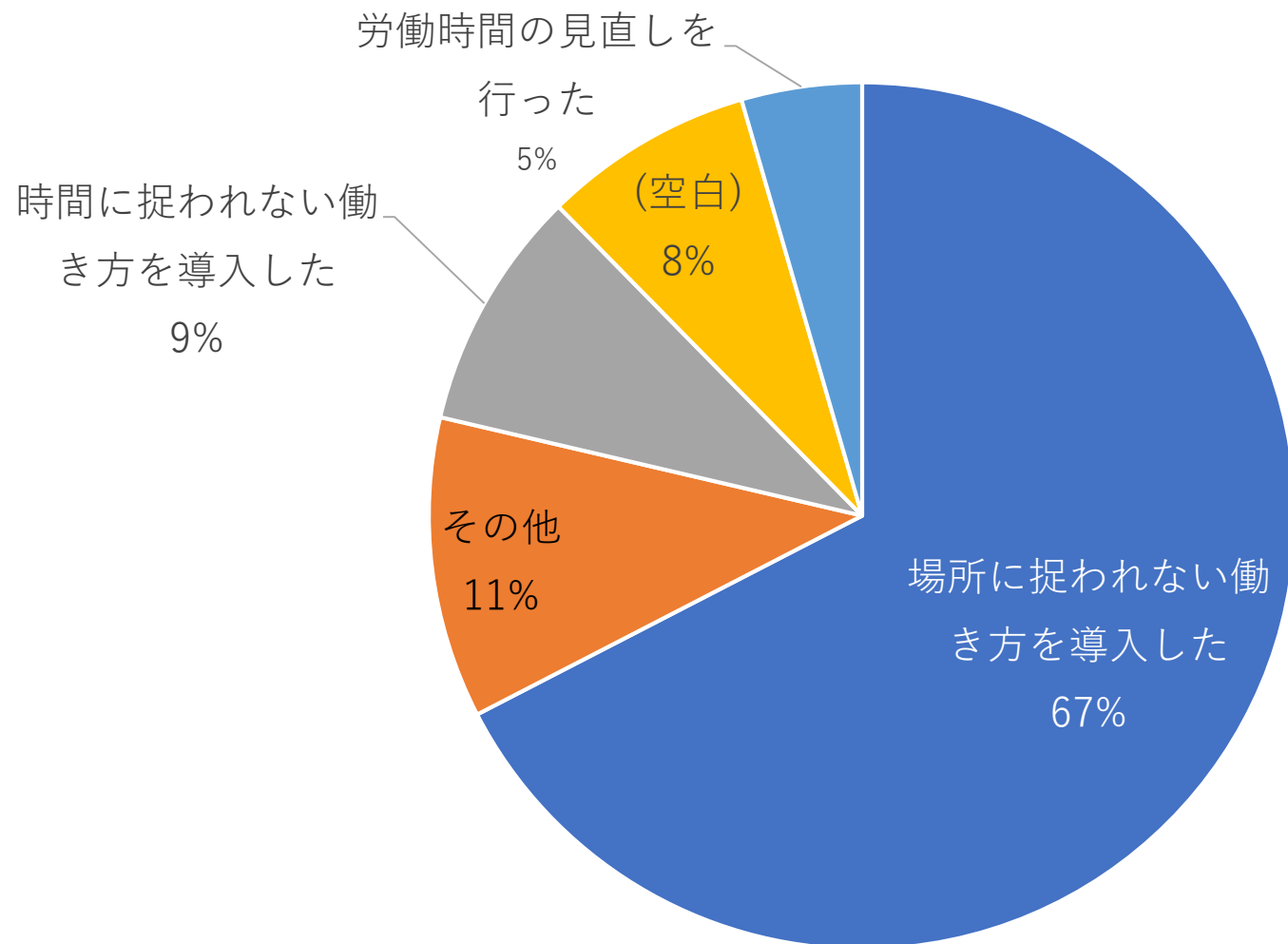
Q2-1 新型コロナウイルス感染症の流行拡大など昨今の情勢を受け、「社員の働き方」についての影響をお聞かせください。



結果概要：「大きく変化した/変化した」が92%となった。



Q2-2 「大きく変化した」「少し変化した」と回答した団体様に伺います。どのような変化がありましたか。（複数回答可）



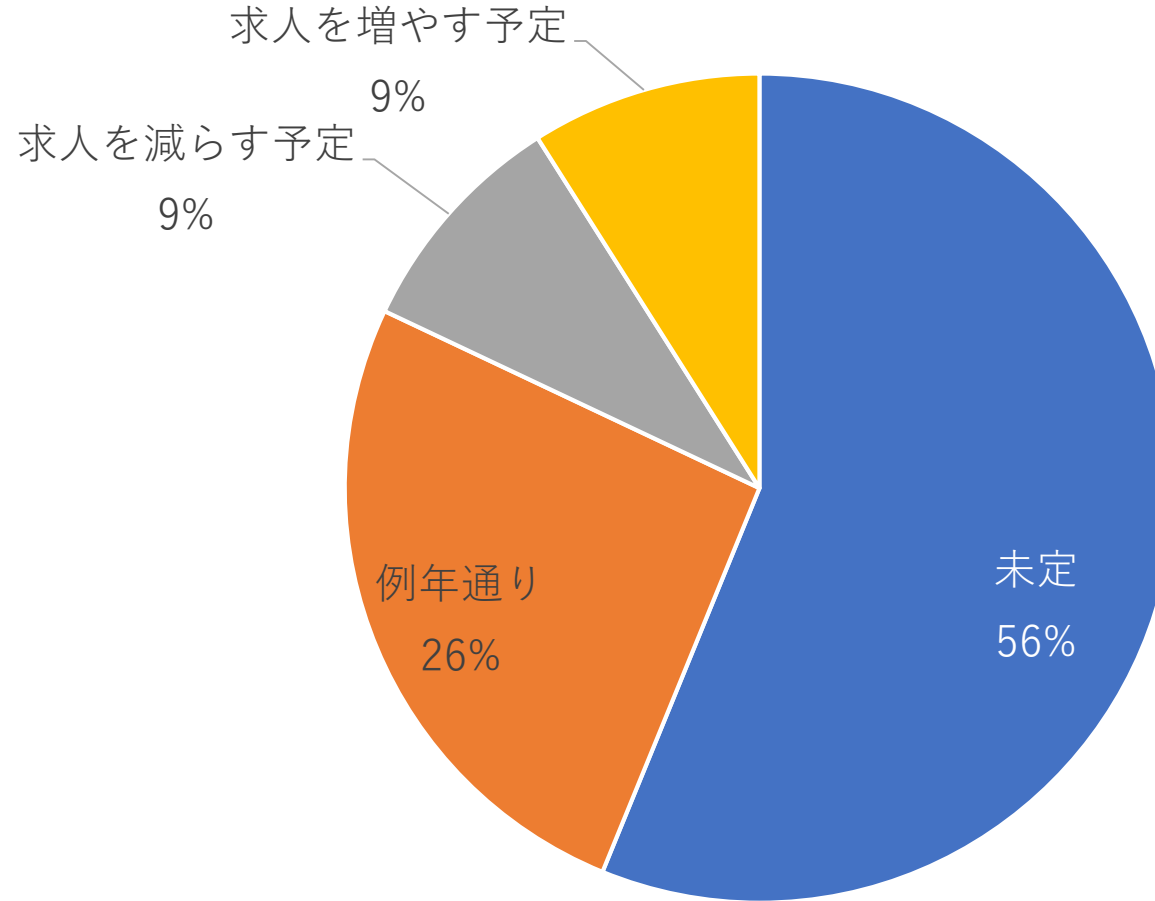


Q2-2で「その他」を選択された方は、詳細をご記入ください。

- **インターネットや人工知能を使った業務改善**に重点を置いた。
- **リモートネットワーク**で、可能なことは全て実施。事務局への出勤が必要か否かを検討する。というやりかたに変わった。
- **リモートワーク**の導入（出勤を伴わない働き方）
- 海外への客先訪問、展示会が休止になり、広報活動、製品開発など今までしていない分野へ**仕事内容がシフト**。
- 海外勤務のスタッフが**帰国**した
- 現地でロックダウンがあり、出社すらできずに、**2か月は完全に閉鎖**した。
- 雇用調整助成金を活用した**雇用の維持**。
- 在宅勤務となり通勤時間はなくなったが**セキュリティ対策のための専用回線の数**が**非常事態宣言に伴う利用者数の増加**に追い付かず、アクセスのしやすい夜中、早朝、休日に行く等、生活の公私の区別がつかなくなり、疲労などがひどかった。
- **在宅勤務を標準的な勤務形態**として制度化した。
- 就業規定自体は変更していないが、**時間・場所について弾力的運用**の幅が一部広げた。
- 電子契約の導入、Microsoft teams/Zoom等の活用など、**インターネット上ツールの利用促進**
- 理事会や総会・外部との打ち合わせについて、積極的に**オンライン会議システム**を活用している。



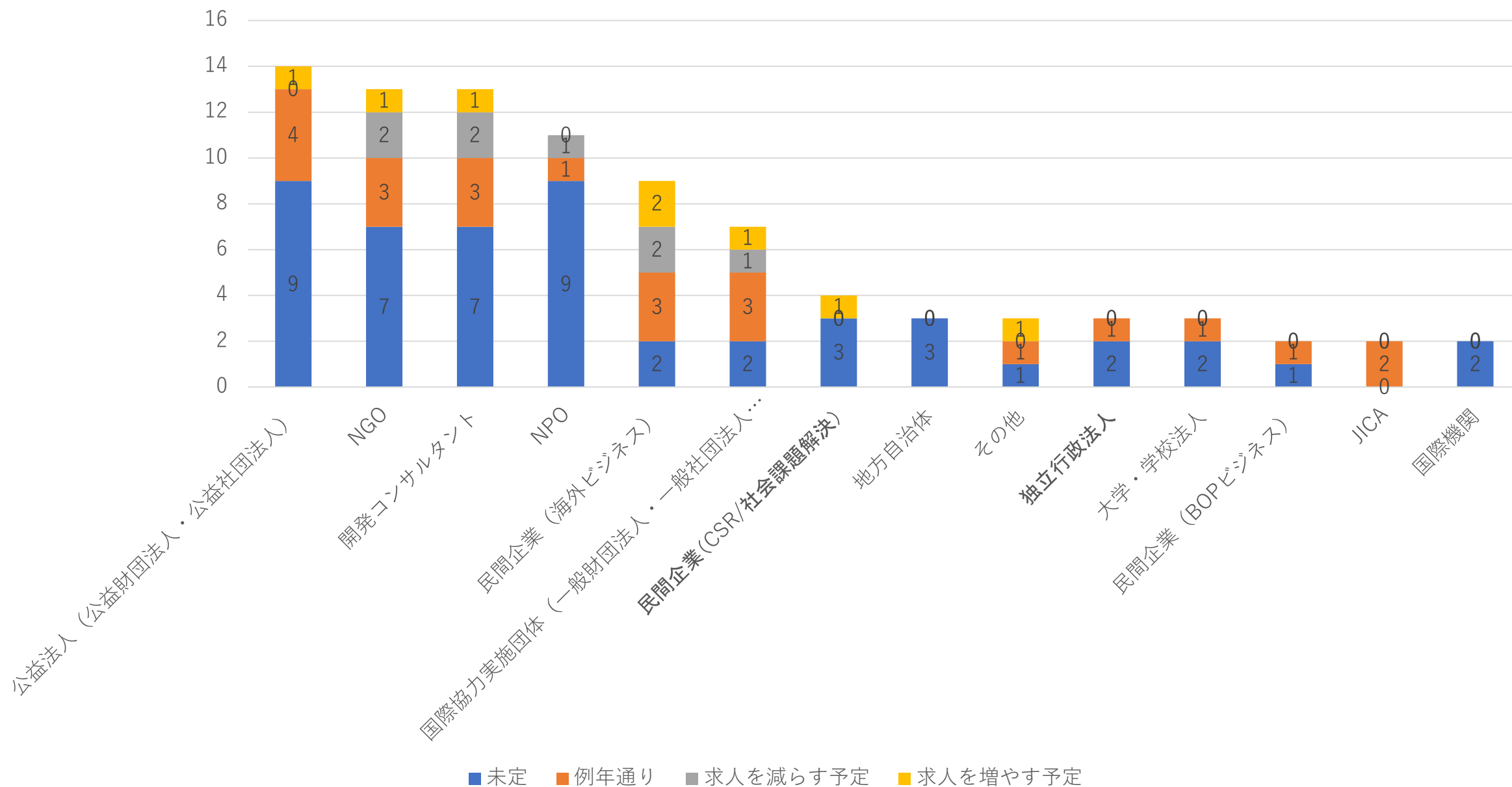
Q3-1 今後の求人情報掲載について、予定を教えてください。



結果概要：「未定/例年通り」が82%

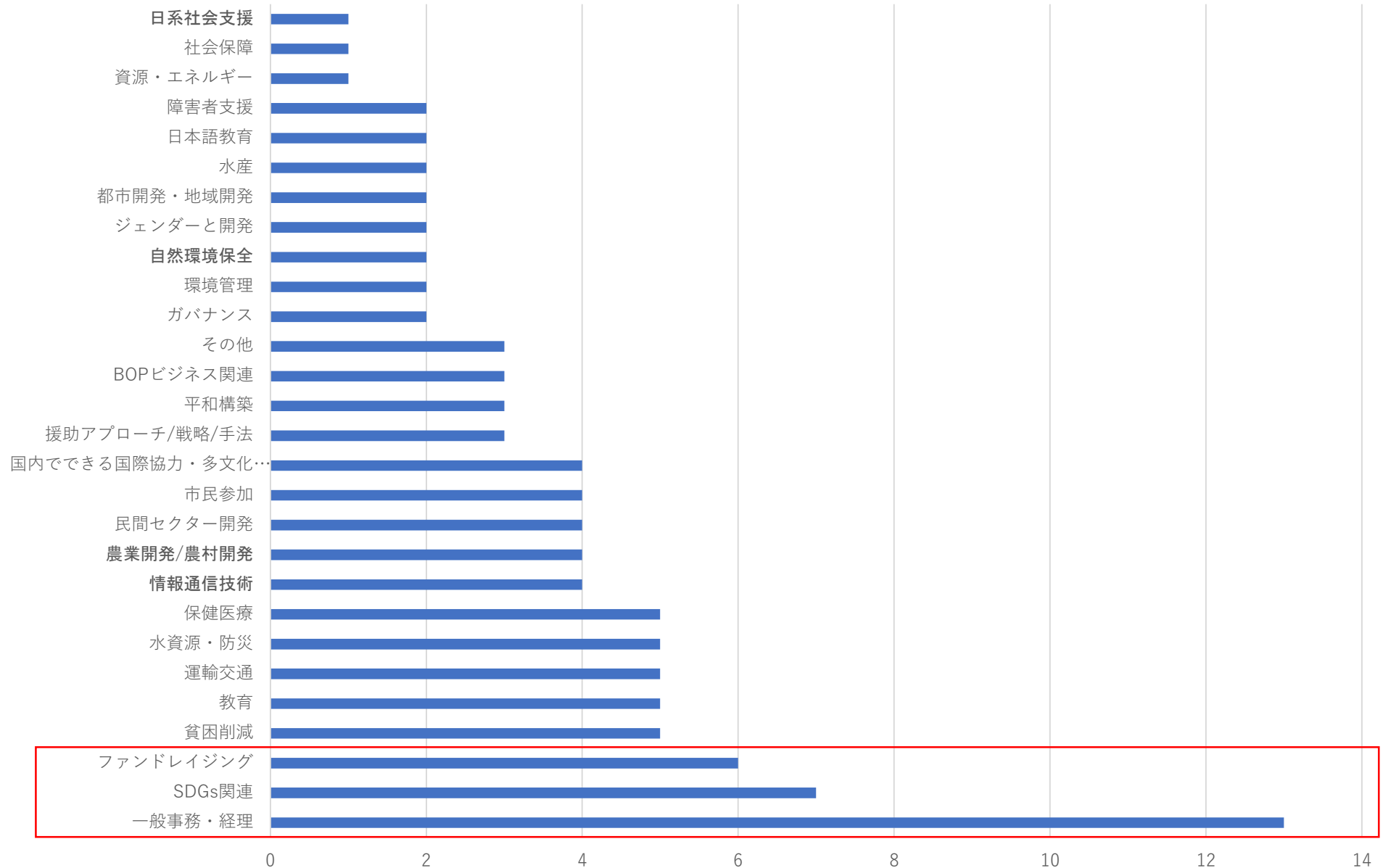


Q3-1 今後の求人情報掲載について、予定を教えてください。(所属別)





Q3-2 [Q3-1]で「求人を増やす/例年通り」を選択された団体様に質問です。どの分野で活躍されている人材を求めているか教えてください。





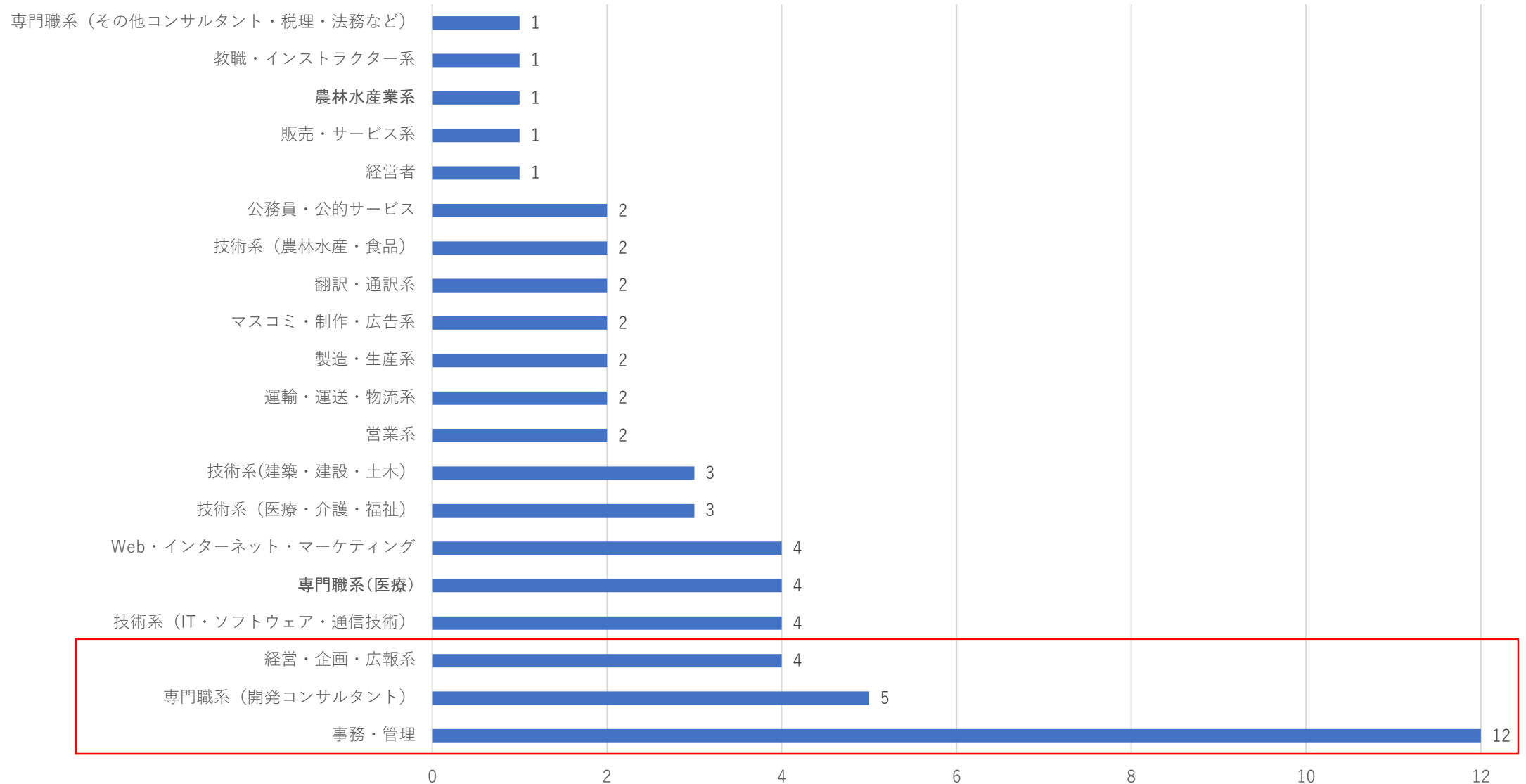
Q3-2で「その他」を選択された方は、詳細をご記入ください。

- **ウェブサイト、オンライン等のテクニックのある事務**
- **建設業**
- 介護事業
- **建築技術者**
- 新規事業起ち上げ、オンライン流通（**EC**）
- 来期の具体的方針が**未定**

注：サイト運用などシステム担当を「事務人材」と呼んでいる団体が少なからずいる可能性がある。

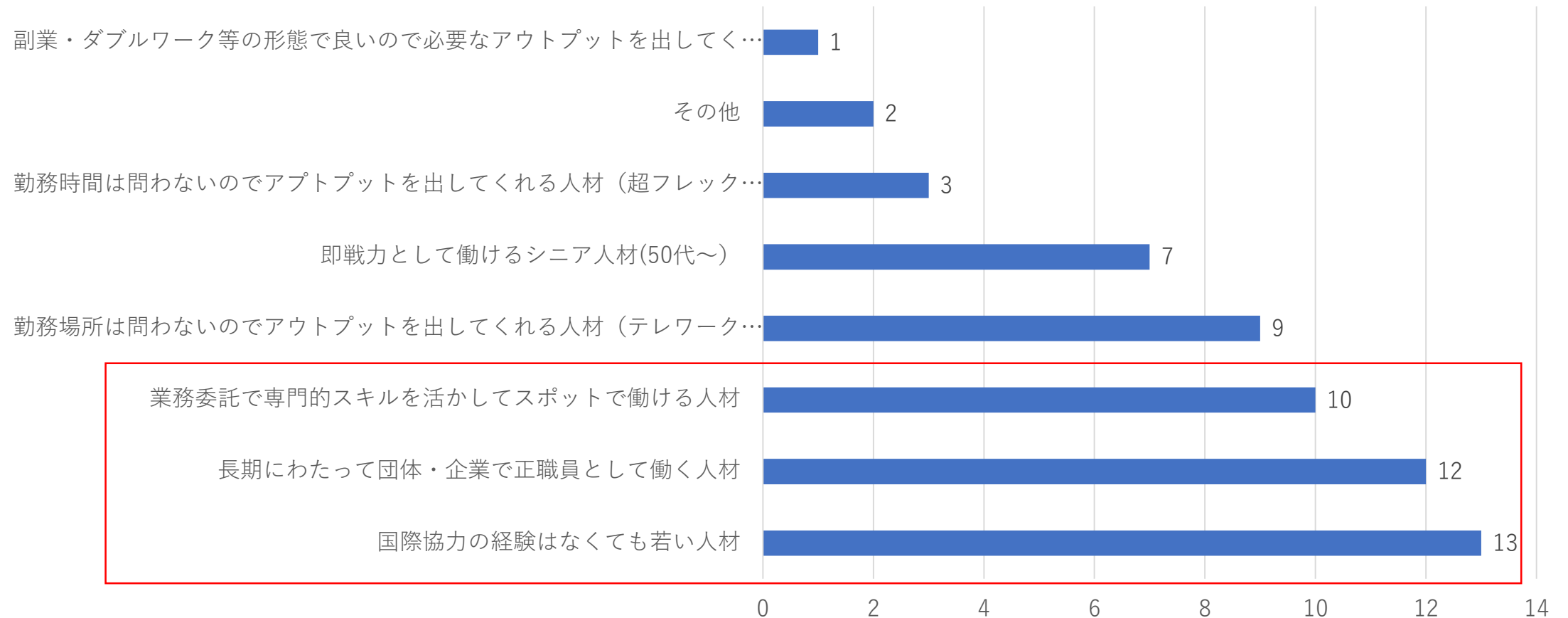


Q3-3 [Q3-1]で「求人を増やす/例年通り」を選択された団体様に質問です。その職種を教えてください。





Q3-4 [Q3-1]で「求人を増やす/例年通り」を選択された団体様に質問です。どのような方に働いてほしいですか。（複数回答可）



結果概要：

- ・団体側では「未経験でも若い人材」のニーズが高い。
- ・「長期働ける正社員」の回答が高いが、スポットやテレワークでの採用ニーズも低くはない。

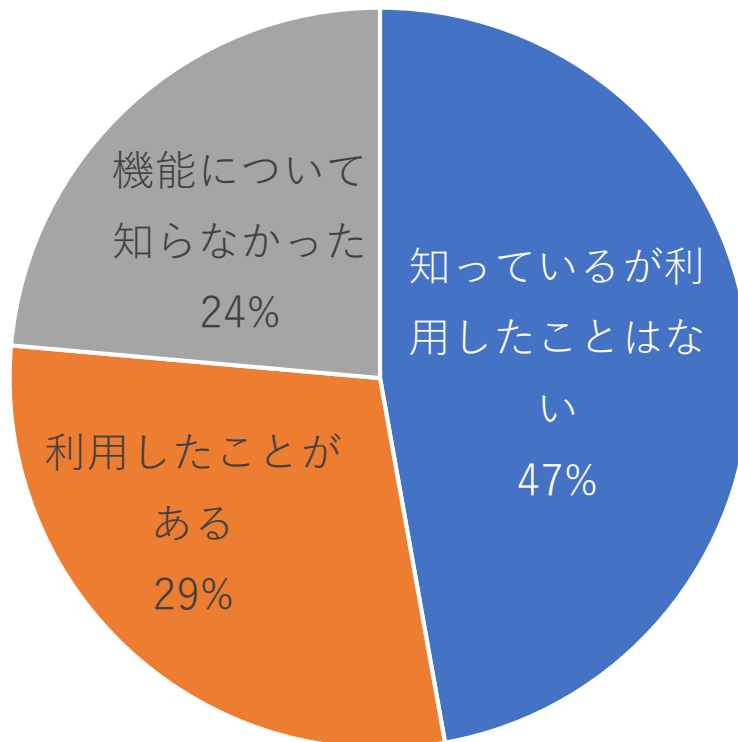


Q3-4で「その他」を選択された方は、詳細をご記入ください。

- コンサルタント会社での経験
- 即戦力として働ける人材（20-30代）



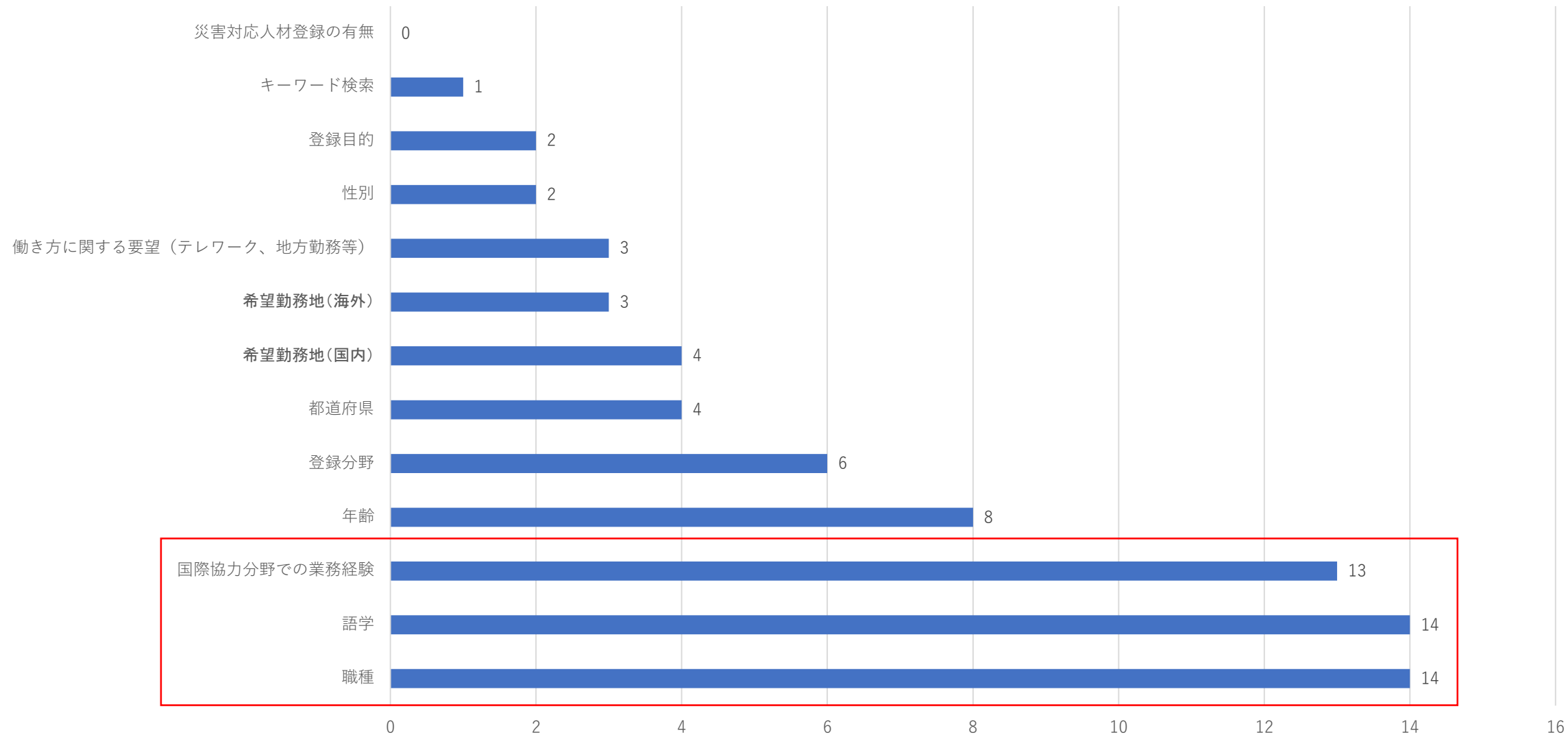
Q4-1 PARTNERの人材閲覧機能の利用状況についてお聞かせください



結果概要：人材閲覧機能を利用したことがある団体は3割に留まった。



Q4-2 [Q4-1]で「利用したことがある」を選択された団体様に質問です。人材閲覧機能で重視されるのはどの項目でしょうか。





Q5 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今後PARTNERに期待するサービスがありましたら教えてください。

- **DMの強化**
- アフリカなどの途上国の人材を探すチャンネルとしてJICA Partnersは重宝をしております。一方で、**途上国での近年民間ビジネスが増えている中、Partnersの登録項目は、非常に開発援助業界に偏ったものとなっております。民間ビジネスも考慮した選択肢や登録項目だと助かります。**
- コロナ禍の事業運営方法でうまくいっている**事例、システムの共有**
- サイトの**インターフェース改善**
- もっと**インターネットや人工知能も活用した発展途上国向けプログラム**を作れないか、提案してほしい。
- もっと多くの方に応募して欲しいが、**どのような企業や待遇・条件を希望する人が多いのか、年齢別・経験別などに知りたい**。大手を希望するような人が多い場合は、ココでの募集は期待できないと判断出来るし、逆に小さい会社でも自由度を求め、チャレンジをしたい人が多いのなら、**もっと募集概要の書き方を工夫する**などを考えられるので。
- **企業からの希望だけでなく、人材の方からも希望する職種や仕事が明確**にわかる、例えばマッチングアプリのように簡単に双方向で検索できるとよいのではないか
- 広報効果の向上
- 国際協力事業においても、**遠隔での活動方法**を見いだしていく必要があるため、そういったことを教えてくれるような**研修に参加したい**
- 今は、ポストコロナへの準備期間、パラダイムシフトが起こる時期に**国際的な経験を持つ人材の重要性はよりあがる**とかんがえています
- 今後新しい働き方が模索されていく中で「国際協力」という選択肢も注目されていくのではと感じております。**九州地域のネットワークNGOとして中小の団体の人材やインターンシップの呼びかけ等をPARTNERさんと連携してより一般の方へ国際協力の関わり方を発信・提案できれば**と思っております。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた**組織への支援策**の提案
- 正社員ではなく、登録型社員として**案件ベースで勤務できる方の情報を希望**します。また、国際協力分野だけでなく、**社内のICT関連業務を副業として対応できる方も検討したい**と考えています。※在宅勤務導入により、ICTを使ったワークフローほか、**業務の合理化、効率化**のニーズがあるため。
- 特に現時点で期待するサービスはありませんが、**今後は人材閲覧機能を活用してみたい**と思います。ありがとうございました。
- 優秀な人材への多様な**活躍の場の紹介**